

3年間を振り返って



愛媛銀行城辺支店
渡部 卓

初の出向

私はE C P Rに平成24年4月〜平成27年3月の3年間お世話になりました。初の出向ということもあり、とても緊張していたことや、名刺の肩書きには「研究員」（どんな仕事をするのか?）、私のデスクの隣には伊予銀行から出向の方、前方の席には愛媛県信連から出向の方・・・他の金融機関の方たちと一緒に仕事をすることに心の整理が着かない自分がいたり、当時のスタッフのみなさんには失礼かもしれませんが、「なんだか場違いなところに来てしまったな」と思っていました。

初の仕事

まず、私に与えられた業務は、機関誌「調査研究情報誌E C P R」の発刊でした。当時の所長さんや、部長さんから「自分の好きなテーマを考えて下さいね」と指示をいただきました。これまでの人生で好きなことの中で地域づくりに役立つ



葉っぱビジネスの徳島県上勝町を視察



別子銅山の産業遺産を訪ねる。(東平地区)

つことはなんだ?「スポーツだ!愛媛で国体もある!これしかない!」企画内容を説明すると、「指導や育成の成功事例を紹介するのではなく、地域に根付く要因やきっかけ、それを取り巻く環境などを踏まえてストーリー性がある事例を紹介してほしい。また、愛媛国体のことも紹介できる内容であってほしい。」ということが条件で了承をいただきました。

早速、県の国体準備課をはじめ執筆していただく方へあいさつに向かいます。

した。企画の説明を行い、先方の考えなどを伺ったうえで、ご協力いただける内容を導き出すことを繰り返し、ひとつずつピースを埋めていきました。

なんとか完成したE C P R 30号は予定よりも1か月遅く発刊されました。私は発刊が遅れたことに必然性と責任を感じました。スケジューリング、執筆者の締切管理、印刷会社とのやり取り、校正の時間など甘くないことだらけだったのです。自分の未熟さを痛感し初めてやる仕事の大変さを学ぶことができました。

遊子の男たちとの出会い

えひめ地域づくり協議会では、地域における多様なステークホルダーが、自分たちのできることや知恵を出し合って地域課題を解決することをテーマに宇和島市の遊子漁協青年協のみなさんと出会いました。地域における自分たちの役割や、仕事のこと、将来の地域について話し合う機会をいただきました。その話し合いを踏まえて、青年協のみなさんができることを実践していただきました。それは、いわゆる「婚活」



をしてお嫁さんや地域に呼ぼうというものです。仕事中にもかかわらずおかわのみなさんは会議やビデオ撮影などにも取り組み、「どうせやるなら一生懸命やろうー」そ

んな気概を「遊子の男たち」に感じました。一度は雪の影響で中止に追い込まれましたが、松山での交流会を経て、平成26年1月に遊子で、えひめ結婚支援センターに登録の女性たちと遊子の男性たちとの交流を図りました。カップルも誕生し、実りのある仕事に携わることができてとても良い思い出です。

魚島

3年間で最も力を注いだのは上島町魚島地域元気アッププロジェクト事業の主査でした。この事業では、期間を3年間とし、地域課題を解決するための法人を設立するために住民気運の向上や住民集会などを行うものでした。舞台となる上島町魚島地域は、旧越智郡魚島村で人口は約200名。この島を舞台に地域課題を解決する法人

を設立することの可能性を探りました。過去に県が行った事業のことや関わった方たちからヒアリングしたり、愛媛大学の先生方をアドバイザーに、事業の進め方などを綿密に打ち合わせました。

まず、島に行き島のことを知ることで、島民と自然な形でコミュニケーションを図り、そこから得られる情報を基に事業の方向性を決めようというものでした。事業を進めてみて、法人化の可能性が無いと判断すれば、3年間の事業を途中で終わることも決断しなければなりません。

1年目の成果として、これから数年での法人化の可能性は小さく、法人設立を急ぐのは魚島のためにならないと判断し、2年目は島民の主体性を取り戻すべく、小さな住民活動を育成していくことを目的としました。

主体となりうる人材も見えてきました。何をやるのか?「クリスマスマスにイルミネーションをしたい!」女性がぼつりとこぼしました。それだ!島民だけで日程や予算を形にしてみました。せつかくだから点灯式もやってみては?と私たちが背中を押すと、小中学生のハンドベル演奏やUOS H I M A X のコーラスパフォーマンスなど協力を得ることができました。豚汁や料理を婦人会に段取りしてもらい、漁師のみなさんには電飾の飾りつけなどで協力を得ました。思わぬ広がりを見せたイルミネーションは大変好評でした。しかし、イルミネーションが何かをもたらずのではなく、この体験が島民の共通意識を生み、それが島民活動の主体となり、次は何をするの

か?するべきなのか?島民で考え実行していただきたいと願っています。

最後に

この他に徳島県上浦町や神山町の県外視察も経験させていただくなど、この3年間で私は様々な場所に行き、たくさんの人々に出会うことができました。この経験は今後の銀行員生活だけでなく、人生においてもとても有意義なものとなるだろうと思います。このような機会を与えていただいた当時のスタッフの皆様や出向元の愛媛銀行の人事教育部にこの場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



魚島イルミネーション点灯式